

第6回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会

日 時 令和3年11月11日(木) 午前10時  
 場 所 日進市役所 4階 第1会議室  
 出席者 9名  
 欠席者 2名  
 傍聴の可否 可  
 傍聴の有無 無 0名  
 次 第 1 あいさつ  
 2 議題  
 パブリックコメント資料(案)について

発 言 者	内 容
	1 あいさつ
事 務 局	(あいさつ)
	(配布資料の確認)
事 務 局	認定数11名に対して9名の出席で、過半数に達し、会議が成立していることを報告します。会議については原則公開となっています。それでは、会長に進行をお願いしたいと思います。
会 長	第6回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会を開催する。本日の傍聴者はいるか。
事 務 局	おりません。
会 長	傍聴人がいないということで、会議を始める。それではパブコメ案について事務局より説明をお願いします。
	2 議題
事 務 局	(事務局説明)
会 長	皆様の意見を聞きたいと思う。
事 務 局	5ページですが、5年間の推移の3について、平成28年度が496グラムになっています。この内訳としては燃えるごみ439グラム、11ページを見るとグラフが載っていますが、11ページの上の段に、一人日当たりごみ量の推移で、平成28年度と令和2年度を見ると、平成28年度は燃えるごみと、燃えないごみと、粗大ごみを足したのが496グラムで、令和2年度は燃えるごみと粗大ごみを足したものです。これは何が違うかということ、平成30年度からは燃えないごみを金属類に変更しましたので、燃えないごみはなくなっています。その違いなので、ここに燃えるごみ+粗大ごみと書きましたが、平成28年度は燃えないごみも入っているので、そこに※平成28年度は燃えるごみ+燃えないごみ+粗大ごみという注釈をつけたほうがいいのかと考えています。これは12ページも同様です。
会 長	注釈をつけたほうがいい。
事 務 局	11ページの一人一日当たりごみ量の実績と推計の2行目に、特に資源ごみの量が

発 言 者	内 容
	年々減少しています。こちら尾三衛生組合から意見をいただいております、1行目で一人一日当たりのごみ量が減っていると書いて、2行目で資源ごみも減っていると書いてあるので、1行目でごみが減ることはいいことだ、2行目でも資源ごみが減りいいことだという印象を受けてしまう。資源として出す量が減るのはいいことなのかということもあり、この2行目は削除したほうがいいのではというご意見をいただいております。
会 長	それは書いてあるのか。これは資源ごみが年々減少している傾向だが、民間のリサイクルステーションなどで回収する傾向があると思われる。今まで議論したことを短い文で書けばいいのではないか。
事 務 局	説明を追加します。
副 会 長	悩むところではある。
委 員	指摘させていただいたが、資源ごみを抜くとごみの量は増えている。そこが個人的に引っかかっている。資源ごみを足したときには、資源ごみが減っているから、全体が減っているというイメージである。県の実態調査は、当然資源ごみを含めた、一人当たりの出し方もあるが、処理しなければならない一人当たりのごみという別枠の書き方をしているところもある。そのあたりが引っかかっている。
副 会 長	重要な指摘である。
会 長	文章は長くなるが、引っかかっているのは2つあって、なぜ資源ごみが減っているのか、処理するごみの量が減っていないのか。その2つを書いてほしい。だから後で焼却処理するごみを減らそうという流れにすることが現状把握において大事なのではないか。
事 務 局	記載します。
事 務 局	全体的には減っていますが、細かく内訳を見ると増えているものとそうでないものがあります。それぞれその理由を明記していくことが大事なところだと思います。資源は資源で減っています。
会 長	ほかに意見はあるか。
事 務 局	<p>事前に指摘いただいている部分があるので説明させていただきます。</p> <p>19 ページの将来推計（令和8年度）の部分があります。こちらの家庭系を見ると17,158t という数字があり、一方で8ページの下グラフはその中の令和8年度家庭系を見ると燃えるごみと粗大ごみを足すと15,862t と1297t を足すと17,159t になります。先ほどの数字と1t のずれがあります。ずれている理由は、端数処理によるものです。将来推計を出すときに、令和2年度の実績値に人口の伸び率をかけて出しているため、小数を含んだ数値が出てきています。具体的には令和8年度の将来推計家庭系のごみのうちの燃えるごみの将来推計が12,861.5t、粗大ごみが1,296.5t です。これを合計すると17,158t という数値になります。ただ8ページのところで、小数を含めて書くわけにはいかないので、こちらは端数処理をして、家庭が15,862t、粗大ごみが1,297t となります。端数処理でこのような判定になっているので、案としては、愛知県の報告書によく使われている文言ですが、この計画書中の数値は四捨五入のため、合計値が一致しないことがあるという文言が実態調査などによく使われています。</p>

発 言 者	内 容
	そういった文言を表紙や下のところなどに入れたらどうかと考えています。
会 長	一般的な方法であるから、それで進めていただければと思う。本当は有効数字の取り扱いの問題であるが、ずれることはない。0.5の後を切り上げているからそうなるので本当は切り上げてはいけない。
委 員	14 ページの課題の整理のところには排出抑制があるが、この 1 行目の一人一日当たり家庭系ごみ量というのは、前のページだと燃えるごみと粗大ごみの量とあるが、5 ページでは不燃ごみを含むと、家庭ごみを燃えるごみと粗大ごみに限定すると、平成 28 年度と比べると増えている。これは不燃ごみが入っていた 496 g と比べると減少という書き方がしてあるので、粗大ごみと可燃ごみに限定すると、増えてしまうが、このあたりはどのように書いたらいいか。
副 会 長	しっかり書いたほうがいいと思う。『粗大ごみを除く可燃ごみ』と書いて、それは増加しているという話は書くべきである。課題の整理だから課題を抽出しないといけない。日常で出すごみは減っていないということ。その話はしたほうがいいのではないか。
事 務 局	令和 2 年度と平成 28 年度を比べると、比較する項目に差が出てきます。それはなぜかということ、見直したことによってごみの出し方が変わった、要するに比較する対象が変わったということです。そちらをメインで書くのか、区分をして、燃えるごみと粗大ごみを合わせた量が令和 2 年度と平成 28 年度と比べるとというような、限定して文章化するか、どちらがよろしいでしょうか。
副 会 長	4 のところの目標の関係で、粗大ごみを除いた数値を出している。日常的に出しているものが、指標としているのではないかという話をしたと思う。だからその指標がどう出されるかというのは、課題の抽出にあってもいいのではないか。
事 務 局	制度が変わったことを書くより、日常的に出る燃えるごみと粗大ごみという方向で比較する方向でよいでしょうか。
副 会 長	粗大ごみというと特別なごみである。そうではなく、日常的なライフスタイルのことを言っているわけではないか。それに結び付く、日常のごみの量というのはどれだけ、どういう状況にあって、ということ言うべきではないか。
事 務 局	例えば 14 ページの本文のところ、日常のごみなので燃えるごみだけ。
副 会 長	プラスアルファで書けばいいと思う。全体ではこう、日常的な燃えるごみについてはこうだと。皆さんの努力が足りてるとは言えないという話になる。増えていることは指摘する必要があると思う。全体で減ってるから別にいい、というのはどうなのか。
会 長	最初の文章はこれでよくて、次に言われたことを追記する。後で言おうと思ったことであるが、これを読んでみると、なぜしないといけないのかということになっている。日常排出されるごみは決して減っていない。もう一つは処理費である。これは変動があるから、物価の問題もあるので一致しないかもしれないが、処理費は増えている。だから減らそうという方向に持っていくというのが一番の動機である。そのためには日常の行動が極めて重要で、それで経費を削減して、それを他の市民生活にまわす。だから次に行動につながるような追記をする。
副 会 長	それでいいと思う。

発 言 者	内 容
事 務 局	日常的な燃えるごみは増えているということを追記させていただきます。
会 長	どこかに、増えていることは書いているのか。
事 務 局	5 ページの下のところにあります。
会 長	ほかにあるか。
副 会 長	17 ページの目標値であるが、令和 2 年度の実績で目標 3 と 4 がどうしてないのか。実績がないのではないかのように見えてしまう。もう少し言うと、リサイクルの削減の理想値と目標値があるが、これが何を言っているかわからない。前も議論したと思うが、目標 3 の項目にリサイクル可能品目混入率の削減とあるから、混入率が令和 2 年度の実績に入らないといけない。このとき混入率がどれだけあったかが入っていないといけない。
事 務 局	ここの考え方として、どれだけ削減したかということを書くところだと思っています。
副 会 長	実績として、出したごみの中にリサイクル可能な品目が混ざっている率というものがある。
事 務 局	タイトルが実績となっています。
副 会 長	例えば 23%であれば、混入率であるから見直しの理想値というのはそれが 0%になることである。しかしその半分の 12%で我慢するという書き方をすると何を言っているかわからない。数字としては今まで議論してきたからいいが、書き方としてはおかしいという話をしたい。現状がどれだけで、だから見直しの目標値はこうするというのが本来あるべき姿ではないかということが言いたい。同じことが事業系ごみの削減でもあって、事業系削減というのは上に 5, 263 とある。これが入らないとおかしい。
事 務 局	ここには実績値を入れて、23.3%が現実で、理想値は最終的に 0 にします。
会 長	混入率、削減は知らない。
副 会 長	このまま読むと 23.3%が何なのかがわからない。
会 長	実績値は 23%、理想値は 0。目標値は 11%削減。
副 会 長	厳密に言うと 12.3%である。
事 務 局	令和 2 年度の実績値が 23.3%、理想値は 0 です。目標値は 23.3%から 11%減らすから 12.3%です。
会 長	20 ページの下の計算値で 11.1%と書いてある。混入率を 11.1%にしたいという値ではないか。
副 会 長	11.1%であれば違うことではないか。それは駄目だと思う。
会 長	目標 3 は混入率の削減という言葉を取って、混入率を抑制する。
事 務 局	ほかの目標にも削減という言葉はつけています。目標としては混入率の削減であって、書き方としては、実績が 23.3、理想は 0 です。
副 会 長	目標値を正確に統一しないとわからなくなる。結果を目標値とするのか、作業の部分を目標値とするのかで混入しているか、わからなくなる。これは統一してもらいたい。今の 11.1%というのが削減量か、混入したままの量なのかがわからない。混入している割合だとすれば既に間違った評価になっている。

発 言 者	内 容
委 員	20 ページ、混入率の2年の実績というのは足すと28%になるが、これが実績であるか。2年の実績ではないという意味でよいか。
副 会 長	23.3%の書き方も問題がある。23.3%は削減量を出すために作った数字だろう。
事 務 局	5年間の平均ですので、2年の実績で書くと違ってきます。
副 会 長	<p>そこのところも実績の取り扱いもどうするかという問題もある。例えば実績のところをどのように取り扱うかというのがある。</p> <p>混入率は誤差がでかいから5年間の平均で出した。何年から何年の平均値を出すという書き方をするとか、上のところに令和2年度実績値を書かずに実績だけを書いて、令和2年度を用意するなどやり方がある。ほとんど全て令和2年度の実績値であるが、ごみの混入率については注釈で5年間平均にしてもいいし、そのようにして23.3%が実績としてあり、それが見直しの理想値は0である、見直しの目標値は12.2%と表記しないといけない。事業系のごみも一緒に5,263tが実績である。上に書いてある通り4,175tが理想値で5,262tが目標値である。そのように書けばいい。後の部分に引かかっているのを直してほしい。それから5ページのリサイクル率が2.2%減少は違うという話をしたような気がする。2.2ポイント減少に直さないと26.4から24.2にならないという話になる。その表記は代用案もある。後21ページの参考のリサイクル率の向上などがある。これはいるのか。これは使うという話になっていないのはいか。これは置き換えて削除するということだったと思うが、ここに載っていると余計な混乱を招くと思う。</p>
会 長	令和8年度に出せばいい。目標としては出さないことになったのでここには書かない。
副 会 長	出さないといけない理由があるのか。
事 務 局	前の話の中で、今の計画でリサイクル率の向上があつて、全くなくなるのはどうなのかという話がありました。
副 会 長	いろいろな資料でその目標が削除ということを認識していた。混乱するのではないか。
会 長	置き換える理由は補足できないのでやめよう、補足できないからその数字の意味がないから、指標を変えようという話だと理解している。
事 務 局	担当としては前のものがそのまま残っていたので、そのまま消えてしまうと、ということなので、このところを文章で表現したいと考えます。
会 長	このような理由からこちらの方に変えたという記述はあってもいいと思う。
事 務 局	そのような表現に変えさせていただきます。
会 長	数値として示すのは、参考と書いてあるが、それはいいと思う。
副 会 長	リサイクル率という指標は使わないと、ここで宣言する記述はいると思う。
事 務 局	書いておくことによって、担当課であっても定義を引き継げる形にします。
副 会 長	あらまし版もそれに沿って直してほしい。
会 長	ほかにあるか。
事 務 局	訂正があります。1億5千万円の削減のところ、エコドームの運営費は約2億円

発 言 者	内 容
	と言いましたが、2千万円の間違いでした。
会 長	今お見せできる削減の額であるが、確認した気もするが、プラスチックを100%回収する費用は、別途あるか。それをどうするのかということを議論したと思うが、この1億円が尾三衛生で支払う、直接の経費が1億円という話があったが、ちょっと違って5千万というのはわかった。更に回収費用が幾らくらいかかったか、実際に幾ら出るかの値もまた違うが、それはどうなっているか。
事 務 局	厳密に幾らかは今の段階では出しづらいですが、今のプラスチック製の処理単価は4万2千を参考値とすると、プラが2,285t削減するというのは公開予測で出している、それを計算すると5,268万5千円になります。焼却ごみに限定した削減見込みは約5千万と申し上げましたが、細かい計算をした数字だと5,277万2,754円で、差を出すと87,754円となります。プラの処理で5千万円減ります。
会 長	回収費は5千万に入っていないのでは。改修した後の処理費は、2,284t回収した後、処理する費用は5千万。回収する費用はどうか。
事 務 局	回収する費用は出していませんが、今収集しているプラの量が増えると思うので、出す車の量が変わってくるくらい量が変わると考えます。
会 長	ざっとどれくらいになるか。回収費用は幾らになるか。
事 務 局	全体の収集運搬でいくと9億くらいです。ごみとプラの資源の収集費用、可燃ごみだけだと1億8,515万円です。
会 長	全体の20%くらいが回収費用か。
事 務 局	可燃ごみだけで、収集するのはほかにも資源とプラの回収ですが、内訳は手元にございません。
会 長	プラを全部回収すると1億はかからないが、7,8千万はかかりそうだと。しかし、費用負担が国から示されていないからわからない。プラを全部回収すると現状7,8千万かかる。国から補助金が出るかもしれないから、自治体が負担するかどうかはわからない。今回減らそうとしている量が5千万円、尾三衛生組合に支払う量は減る。プラは焼却処理しない方向に行く。1億円と書くのか、5千万と書くのか、前も言ったが、焼却処理経費と書けば、それは事実ということであるから、トータルの経費が幾ら減るかということになると、今はわからない。見込み、現状の数字を積み上げていくと減らない。2、3年は増えそう。リサイクルはされるが増えそうである。国の方針なので、それを自治体が負担するかはわからないので書けない。そういう現状である。
事 務 局	必要な経費がかかったところからスタートラインとすると、そこから5千万減ります。それを相殺すると増える可能性はあります。
会 長	おそらく増える。だからこの経費1億円削減を5千万に変えるとしても、これは焼却処理する経費が3億、これは間違いないか。こういう表現に変える、まず全体の理解をしてもらって、実際には減るので、リサイクルは国の方針だから、経費はかかる。直接負担する経費を削減する、こういう話でどうかと思う。焼却処理経費5千万削減。こういう話でどうかと思う。
副 会 長	複雑なことは書けないし書かないほうがいい。事実だけにしたほうがいい。

発 言 者	内 容
会 長	そのように表現を直してよろしいか。23、24 ページの継続施策の議論はあまりしなかったが、施策1から5とあるが、これは本当に継続するのかを伺うが、軌道に乗っているものは書かなくてもいい。施策4、5はここに残しておくのか。施策5はしていないのか。
事 務 局	計画の策定は29年で終わりました。策定はしていますが、実際に行動をどう移すか、行動計画のところできていません。実際に具体的に動けなければ意味がなく、言葉が足りない。
会 長	そのように書けばいいのではないか。
副 会 長	せめて何年に計画を策定したというのは入れたらいいのではないか。
会 長	施策4もそのまま貼っている気がする。終わっているものは書かなくていいのではないか。軌道に乗っているものもあるのではないか。
事 務 局	その観点で整理します。伝えるべきことは絞り込みます。
会 長	実質は変わらないが、軌道に乗っているものは書くので。私からは以上である。文章の微修正は個別にしていなければならないと思う。
委 員	<p>今回追加されたところが黄色になり、わかりやすくなっている。逆に市民の方がこれを読むときに、覚えておいてほしいという箇所は黄色くしてもらおうと市民の方は目がいて見やすいのではないか。文章が長いから全部は読めないかもしれない。ぱっと見たとき、ここってというのがわかった方がいいかなと思う。</p> <p>それから17、18ページのところで気になるのが、令和2年度の現状値の数値があって、令和8年度の理想値もあり、資源という資源を全てリサイクルできたらごみの量はこうなるというのがあって、そこまではいけないから、市民・行政・事業者併せて三位一体になって目標値を目指すと思うが、もう少しわかりやすいといいたいかなと思う。この表の中に矢印があるといい。本当はこうしたいがやるのはここというのがわかればいいと思う。表になっているとしっかりしすぎていて、ぱちりできると思われてしまう。理想であるが、目標にすべきものは、ここであるというのが見るといい。それと同じように企画するとき、最初からあった表だから、1、2、3となっているが順番的には1、3、2という読み方になる。一緒に合わさるといいなと思いつつ、3の理想値というのがやりたい部分だが、そこまではできないので第一段階の目標値を出していこうという書き方が市民にとってはわかりやすいのではないか。市民が目指すのは、理想より目標値であることがあったほうがいいと思う。更に18ページの四角い枠のところに書いてある目標値の算定ということで、実施を予定する施策の成果が一部現れないところも想定した現実的な数値というのは、策定している委員会目線でいうところになるが、実際市民にはやってほしい数値だという部分で、市民・行政・事業所みんなで頑張る数字はこれだという前向きな言葉の方が見えて、頑張るぞと思える。</p> <p>面白いと思ったのが、最後の24ページのごみ処理の主体と役割ということで、行政がやるもの、市民がやるもの、事業所がやるものとあって、これが重要だと思う。市民や事業者が自分たちは何をするのかと思うが、やってほしいという項目があるのはいいと思った。そこにもう一つ、市民としてとらえたときに、4Rを知らない人もいる</p>

発 言 者	内 容
	<p>かもしれない。意味が書いてあるといい。更に、リサイクルという言葉が先行しているから、市民はリサイクルという言葉は知っていると思うが、リサイクルは市民が出したものを再資源化することであり、事業所がやることである。あえて事業者の役割としてリサイクルを入れ、市民の方は、ごみを出さない、適正なごみを出すにしたほうがいいのではないか。僕は4Rという言葉が先行するのが好きではなくて、市民の方にやってほしいのは、ごみを出さない、使えるものは使うという言葉にしたほうがわかりやすいと思う。</p> <p>最後に、25 ページに3者協働の在り方がある。これは非常に面白いと思ったが、もう少し市民にわかりやすく、さらに、僕らは事業者であるからリサイクルしていこうと一生懸命考えていくが、それを事業所として一生懸命やり、同じように市民の方はごみ減量、可燃ごみを出さない、ひと絞りするというのを書いたほうがいいと思う。行政はそういった啓発活動をやっていくというのが書いてあると、それぞれに役割があって、丸の真ん中に5千万削減になっているといいと思った。</p>
会 長	<p>全体の意見としては、思いが伝わるような表現の工夫をすること。色はつけることはできるか。縦覧するだけか。</p>
事 務 局	<p>冊子を置いておきます。色をつけることは可能です。いろいろな色があると、そのへんの表現はありますが、わかりやすい見方というのを重点的に考えます。</p>
副 会 長	<p>現実問題としてどこをハイライトにするのか気になる。</p>
事 務 局	<p>いきなりこの計画全てを見ようと思うと大変なので、現状あらましの方で大事なことはある程度わかるようにします。</p>
副 会 長	<p>いずれにしても基準があるような気がするので、あらましの部分が見えるようにするというのの一つの手である。</p>
事 務 局	<p>あらましを更に絞り込むことはなくてもよろしいですか。あらましにあるのは必要なことだからここに移してあります。あまり絞り込むと逆にわかりにくくなるとも考えます。そういう流れという形で直させていただきます。</p>
会 長	<p>あらましが5つある。ここに計画を何ページか書いてもらうのもいいと思う。</p>
事 務 局	<p>見やすい見せ方を考えていきます。</p>
会 長	<p>図について、1、2、3どうするか。変えるなら3つの輪っかだが、元々色はついているか。2、3同じ色だからよくわからないという話もある。真ん中の理想値の色を変えればいい。もう一つの図の25 ページについてもう一度お願いする。</p>
委 員	<p>いいと思うが、日進市でやっている内容はここに入ってきた方が抽象的な感じがする。もっと具体的なこと、例えば、市民にとってやってほしいこと、行政はこれをやるとか、自分はこうやってほしいというのがあればいいと思う。</p>
事 務 局	<p>まさに抽象的なことしか書いていないので、実際に尾三衛生組合に来ていただいています。収集しやすさを市民の方には伝えていきたいと考えています。どこでも使えるような形のものにこれが載っているのでもう少し具体的なものを入れ込んでみます。</p>
副 会 長	<p>これをよく見ると、本当は市がやっていることはごみ収集であったりするが、そういう話はどこにも書いていないのでは。</p>



発 言 者	内 容
事 務 局	行政の中の上から3つ目になります。
副 会 長	収集体制の整備がそれにあたった。厳密にやり始めると結構難しいと思う。だから、わざとふんわりした言葉になっていると思う。
会 長	少なくともしていないことは省いてほしい。内容を精査して、修正してほしい。
委 員	あらましの中に、三者協働の在り方を具体化したものを入れて、4と5は書いてあるので、これを省いてこっちを入れたほうが皆さんも協力しやすいのではないかと。4の、5年間の推移の方に、アンケート調査の結果を省いてこの絵を入れてもいいのでは。
副 会 長	受け取り方の問題だと思うが、これはパブリックコメント用のことであるが、必要なことが書いてないとまずい。要するにチラシとは違う。性格が違うかもしれないと、ちゃんと策定されたあかつきには日進市がそうおっしゃるパンフレットを作られるのではないかと。今のパブリックコメントで見直し版を見てもらわないといけない。
委 員	計画書も読んでもらう。
副 会 長	2つ出して大変だから、理解の手掛かりにということをつけるのであればこの中に盛り込まれている大事なデータというのは、置いておかないとまずい気がする。やってほしいことは呼びかける話になる。計画が策定したあかつきに呼びかける話になるので、ここで今言ったことが、大事になってくると思うので使い分けを考えないといけない。
事 務 局	この目標を達成するのに、どういったことに市民の方に協力いただけるか。チラシなどでそういったものを発信し、どこの部分に注意してもらうべきかを市民に対してやり方を伝えていきたいと思っています。今回は計画の内容をまずわかりやすく知っていただくことであらましを作りました。
会 長	よろしいでしょうか。
委 員	ざっと読ませていただいて、前の資料よりわかりやすくなってきたと感じた。 誤字があり、2ページの『河川や海洋の環境を保全を』のところの『を』が2つあるが、直したほうがいい。4ページの4行目、『爆発性、毒性、感染性その他の健康又は』のところに、読点をつけてほしい。下の図の小さい文字で書いてある、『感染性のある廃棄物で』のところ、『感染性』のところにも、そういう言葉を入れたほうがいいのではないかと。点を入れるか、『感染性のあるもののほかに』という書き方にしてもいいと思う。7ページの6行目に『米のとぎ汁は植木にやる等により再利用している』ところの、『より』を『よる』にしてはどうか。あらましの1、基本方針の四角の中の『前提として』の『として』が重複している。
会 長	ほかにあるか。あらましのアンケート結果についてだが、本編6ページをコピーしてあるが、結果だけを書いてほしい。こうすることが必要だというのは意見なので取り除いてほしい。6ページの主体は、例えば最初のアンケートの結果、ごみの分別、収集日の変更についてから始まっている。計画書の6ページの○をつけてほしい。
事 務 局	今日のご意見を踏まえて修正し、皆さんに送付して確認していただくか、回答を送付して確認していただくことになりましたが、いかがいたしましょうか。

発 言 者	内 容
会 長	電子メールで送れるか。
事 務 局	全員には送れません。
会 長	最終版なので送ってほしい。皆さんに。
事 務 局	郵送やメールで送らせていただきます。
会 長	誤りがあれば個別にご連絡してほしい。
事 務 局	日にちは決めずなるべく早く送らせていただきます。
会 長	会長・副会長は確認するが、皆様にも最終を確認してほしい。
事 務 局	最低限、誤字脱字がないようにチェックします。皆様にお送りしご意見をいただき、修正をかけたものについては、会長・副会長の一任でお願いします。
会 長	ほかにあるか。
事 務 局	ここはあくまで日進市のごみ処理基本計画ですが、三市町で一つの焼却場を使っているの、尾三衛生組合のこれを受けての予定を説明してもらいたいと思います。
委 員	先回の見直しは市町と時期を合わせてやっていたが、今回は今年度で作る予定だったが、この市の基本計画というのは3つの町のデータの結果の集まりであり、経費削減も考えて1年ずらしました。3つの町から今年作ったものをいただいて、それに加え基本計画というのは10年から15年あるので、10年間計画で作ろうということで、来年の予算を確保している。一番難しいところが、プラスチックの資源循環のところ、今騒がれているカーボンニュートラル、温室効果ガスの削減という、温暖化防止実施計画というの併せて作っている。目標としては、市町が来年度からプラスチックの回収をやってくれるという想定で、プラスチック部分を抜いた焼却炉や、温室効果ガスの算定で何パーセント削減という計画で策定しているので、そのあたりは市町にも協力いただくことを考えている。
会 長	ありがとうございます。大きな変化点である。プラスチックがなくなって発熱量が減ると大丈夫か。
委 員	カロリーが下がってしまって燃えなくなるのではないかというのがあるが、そこまではない。生ごみだけ燃やしているのではなくて、粗大ごみ施設の方から破碎したもの、燃えるものが全部可燃ごみの方に回ってくるので、それと合わせて焼却する。
会 長	ほか意見はないか。では、今日の案については出していただいたということで、担当課で修正をお願いします。それではその他を事務局にお願いします。
事 務 局	(スケジュールの説明)
会 長	よろしいか。
事 務 局	1月の下旬から2月の頭になってしまうかもしれませんが、会議は後2回になります。
会 長	ただいまのご提案について異論がなければ進めたいと思う。ほかによろしいか。これで終了させていただく。